

# 武蔵の里と 近郷諸寺を巡る

山口  
山田  
栄

五月二十三日、県北有名諸寺巡りと武蔵の里を訪ねる周遊の旅に参加させて頂きました。

ブルーライン黒井「道の駅」にて一号車、二号車合流し、吉井川に沿って北上して大聖寺に着く。寺の塀の内に二本の銀杏の大樹が若葉を輝かして居た。大聖寺は文豪吉川英治が懸命に宮本武蔵を書いた寺である。その部屋は明け放たれて居て、静かで立派な畳の部屋であった。その右奥の泉水の庭が風雅を副えていた。庭の右手に沙羅双樹、今を盛り白い小手まりの花がこぼれる様に咲いていて、更にその先に武蔵とお通の二人の像が仲良くならんでたずんでた。住職の話では、武蔵のテレビが始まった今年、寺を訪れる人が多くなり、千客万来嬉しい悲鳴の毎日と聞く。

お通は実在の人物ではなく小説の仲の女らしい。早々と引揚げて車は次の法輪寺へ向う。山峡の危い様な車道付近の山々は高く険しい。言うなれば男性的である。法輪寺住職は吾老僧と高野山勉強時代の同期生とかで朝日寺にも参られし事ありとか。若き時からの親友である。



大聖寺参拝記念(1号車)



大聖寺参拝記念(2号車)

法輪寺を辞し、西粟倉荘で昼食をとり

終つて、一同主目的の「武蔵の里」へ。大原町に入り、誰もが驚くのは数年前との変わり様である。否、大原町のみならず近郷も同じだ。武蔵景気を各方面に取り入れ、町の発展に町民達必死だ。県も力を惜まず後押しして、一層の観光客の導入を図っている感を深くする。「武蔵の里」は各目的の散策となつて居り、資料館で遺墨、遺品を見学、「一芸に秀でる者は万能に通ず」の感を深くす。文武両道を思い出す川中島の両雄然り、明治の乃木將軍然り、町の職員も必死の奮闘で町おこしに従つて居る。その様を野外劇場で観る。日に七回もの巖流島の決斗出演、観衆は劇場を取り巻いて立錐の余地がない。それは芸をする若い職員の純心に町を愛する旺盛な責任感と、それを汲み取る観衆の心が溶け合つて居るからと思ふ。ふざけて観衆を馬鹿にする様になると客は一人も見まい、そんな気がした。初夏の午後の日にさらされ、疲労を覚え車に戻る。心から大原町の繁栄を祈り長福寺へ向かう。長福寺のまず人目を引くのは丹彩の三重の塔だ。寺の方も修繕が見事であった。何かの都合で住職はお留守で奥様の御厚意の茶菓を一同戴き有難かつた。車に乗ると帰心矢の如しだ。途中、土産物店の売店にて夫々の土産を充分買ひ求め、帰りの荷重くバスは今朝来たブルーラインへ。家路に急ぐ五月の旅も好天に恵まれ、つつがなく捻り多く終りました。此の度、お世話になつた皆様には有難く厚く御礼申し上げます。  
「卯の年の卯月米寿の寺参り」

## 読み上げ

朝日寺と言へば「読み上げ」と言うように寺の名物行事となつて居る当行事は、今から二百八十年前には、もうすでに行なわれていた事が寺の書物からもわかります。この長い年月跡切れる事なく行なわれる中で、現在の形が檀家の中に定着したものでしょう。

昨年は七月二十日、約三百名の人々を集めて行事が行なわれました。NHKの番組「きびきびワイド」の司会をして居る森田恵子さんを迎えて、お話を聞きました。テレビで毎日見る人の素顔に接し、番組制作の苦労話をお話いただきました。今年も、海の日が第三月曜日となつた為、七月十九日に行ないます。就実大学々長の柴田一先生にお話をさせていただく様予定しています。



森田恵子さん

## 宝物保存会

写真は修繕なつた大塔です。今から二・三百年前に作られたものです。朝日



寺には今から三百三十余り前まで、実際に大塔がそびえており、現在その中にお祭りされていた本尊大日如来は、西宮市の西広寺の本尊として現存しています。再興後の朝日寺の住職が、かつてのよすがを忍んで作つたものでしょうか。今年度は火災報知機を各建物に設置する予定です。

## ご詠歌に癒されて

庄田東  
木村秀美

明けましておめでとございます。皆様お揃いで良い年をお迎えのことと存じます。

皆さんご詠歌を習つてみませんか？ご詠歌を唱えていますと身も心も癒されて救われていく思いが致します。

私ごとですが主人が亡くなって二年あまりになります。その間には色々なことがあり、悲嘆にくれて落ち込むことも幾度となくありました。沈んでいる時「そんなに落ち込んでると亡くなった人は喜ばないよ。前を向いて頑張らんと」と言つて肩をポンと叩いてくれる近所の方、親戚の方、娘や孫たちは「おばあさん友達と美味しいものでも食べに行つたら？」と言つてはくれても毎日落ち込む日々が続き、暮らしていきけるのか、と不安に陥つた。

そんな時です。私は少しご詠歌を習っていたので、心の中で唱えていると少しずつ気持ちが落ち着き穏やかな気分になれた気がしました。主人が亡くなった当

時は人の前に出るのも、話をするのも気がめいる事が多かったのですが、これではいけないと思ひ一年休んでいたご詠歌をはじめすることにしました。皆さんと一緒に楽しく、和やかに話をしたり、ご詠歌を習つていくような気がしました。主人も治療に通う車の中で私が小さな声で唱えていたり、ご詠歌のカセットを聞いていますと「ご詠歌はいいなあ。気持ちが落ち着いて穏やかな気持ちになつてくれる」とよく言っていました。

私達にとつてご詠歌にであえた事は本当によかつたと思えます。又、ご詠歌を唱える事により少しでもお大師様を身近に感じながら先祖の供養と家族の幸せを願ひながらこれからは皆さんと一緒に楽しく仲良く唱えていきたいと思ひます。

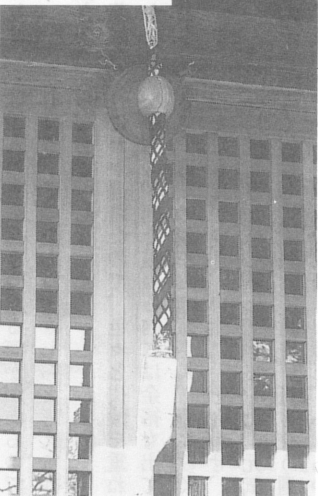
人にはそれぞれ生き方があり、苦、災いがありますが、その中にも喜び、楽しみもあります。疲れないほどに心豊かにゆつくりと生きたいと思ひます。

里の亡き母の川柳の短冊に「線香の煙がゆれず今日も無事」この句のように線香を揺らさないよう日々感謝し穏やかな老後が過す事ができたらと願っています。 合掌

## ご寄附

客殿仏間に天がい。西大寺の久本文枝さん、高助の吉田謙之丞さん、中東の水野綾子さんが連名で、又、本堂正面のわに口と鎮守堂正面の鈴の紐を問口の故山田克己さんが御寄附下さいました。

## 六角型 人天蓋



## 役員名簿

### 総代会

(◎総代長、○副総代長)

- |     |          |
|-----|----------|
| 尾張  | 川野正弘     |
| 虫明  | 川野好数     |
| 前泊  | 清水佐伯男    |
| 問口  | 山根一成     |
| 下寺  | 内田貞市     |
| 渡内  | 武内良一     |
| 庄田東 | 森茂雄      |
| 庄田西 | ◎千種健吾    |
| 高助  | ◎近藤倫敏    |
| 大土井 | 三浦勝美(代理) |
| 西部  | 橋本利夫     |
| 中部  | 谷和重      |
| 東部  | 佐賀和重     |
| 大東  | 和田次郎     |
| 敷井  | 木下政夫     |
|     | 川野邑久     |
|     | 森隆明      |
|     | 畑中昭男     |
|     | 清野範雄     |
|     | ○松井立男    |
|     | 松下栄      |

### 密教婦人会

(◎会長、○副会長、△会計)

- |     |        |
|-----|--------|
| 下寺  | 山本妙子   |
| 問口  | 三輪節子   |
| 前泊  | 武内笑子   |
| 庄田東 | 内田登子   |
| 庄田西 | △木村美子  |
| 高助  | 松本玲子   |
| 渡内  | ◎藤中ひさみ |
| 大土井 | ◎浅野美佐恵 |
| 西部  | 田中石子   |
| 中部  | 谷容子    |
| 東部  | 神坂房枝   |
| 大東  | 大倉信子   |
| 敷井  | 三浦弘子   |
|     | ○西岡仁美  |
|     | 川野俊香   |
|     | 浮田明    |